

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月13日更新

事務事業名	学校支援地域本部事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名 上原 哲也
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	生涯学習課	担当者名 上村 祐一郎
	基本事業	59	地域における子育て支援		所属班	生涯学習班	(内線) 1504
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 1	事業連番 11291	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 ~ 25 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	地域全体で学校教育を支援し、学校と地域の連携体制を図り、多様な形態の教員支援を行う。文科省の10分の10の委託事業であり、県と市教委との委託契約後、市が合志南小学校区の実行委員会である「南っ子支援ボランティアの会」に補助し、事業を行う。地域の教育力を強化し、地域全体で学校教育を支援するため、平成20年度から「学校支援地域本部事業」が文科省の委託事業として始まった。本市では合志南小学校がこの事業を希望したことから、平成20年度の途中からであるが事業に取り組んでいる。「団塊の世代」の大量退職時期となり、経験豊富な人材が地域に帰り、活動の場を求めていくと思われる。また一方学校では学校教職員の本来の仕事以外の業務が増加しており、子どもたちと向き合う時間が減少し細やかな指導ができなくなっている。
【業務の流れ】	学校支援地域本部事業計画提出→事業採択後県と市で委託契約締結→県からの委託金交付→市が合志南小学校区の実行委員会「南っ子支援ボランティアの会」に補助金交付→事業終了後精算報告
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	老人会など地域住民の有志から、学校や子どもたちに「何か」を教えたい。または「何か出来ることを協力したい」との申し出が出ている。国受託事業のため3年間で事業を終了するために、事業継続する方策を検討している。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
○「南っ子支援ボランティアの会」実行委員会兼地域教育協議会の開催(10月・2月) ○合志南校区での南っ子支援ボランティアの募集→ボランティア名簿の作成 ○ボランティア総参加による、「南小フェスティバル」の開催 ○南っ子支援のボランティア活動 ○「子どもとメディア…今私たちがすべきこと」講演会の開催	○「南っ子支援ボランティアの会」実行委員会兼地域教育協議会の開催(10月・2月) ○合志南校区での南っ子支援ボランティアの募集→ボランティア名簿の作成 ○ボランティア総参加による、「南小フェスティバル」の開催 ○南っ子支援のボランティア活動 ○「子どもとメディア…今私たちがすべきこと」講演会の開催
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 人材バンクに登録された住民の数	人
イ	これまでの3か年については、県から10/10補助事業であったが、平成23年度から2/3補助事業となるため60万に減額した。さらに第一小学校の放課後子ども教室を学校支援地域本部事業に事業変更することとしているため、新たに60万を増額した。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志南小学校区及び西合志第一小学校の住民	(単位)
	→ ア (合志南小) 校区内の人口
	イ (西合志第一小) 校区内の人口
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
地域住民全体で子どもを教育する	(単位)
	→ ア 地域住民が学校支援に協力した回数
	イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
地域子育て力の向上を図るために団体に補助をし、地域、学校、家庭がひとつになり学校教育を支援するにあたり、実施回数を設定している。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ~25年度
① 活動指標	ア	人	60	74	80	74	80	80	80	
	イ									
② 対象指標	ア	人	8,000	9,079	9,100	0	9,200	9,250	9,280	
	イ									
③ 成果指標	ア	回	5	499	520	0	500	500	500	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	321	941					
		都道府県支出金	千円			1,021	1,040	800	800	
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円		1	1		400	400	400	
	(A) 事業費計	千円		321	942	1,022	1,040	1,200	1,200	1,200
(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	0	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	30	30	30	0	30	30	30	
	(B)人件費計	千円	120	119	119	0	123	123	123	
トータルコスト(A)+(B)	千円		441	1,061	1,141	1,040	1,323	1,323	1,323	

事務事業名	学校支援地域本部事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 事業の範囲内で工夫を凝らして実施しているため
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 合志南小校区は、住宅団地を多数抱えており潜在的な協力者人口が多いと思われるので、事業の趣旨を浸透させることで成果向上が期待できる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 国からの受託事業であり、他の手段はとれない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費全額が国から出るので、削減は考慮していない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 この委託事業の主眼はボランティアの活動であり、コーディネータの謝金のみが人件費となるため削減はできない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 国からの受託事業であり、受益者負担の考え方になじまない事業である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 地域住民、学校が一体となって既に取組んでいる。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

・2年目を迎え、認知度も高まり、事業目的である地域教育力の向上が1年間を通じて図れた。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						